

事務事業実績測定調査

事務事業名称	下水道施設維持管理事業						
測定年度	2020 (R2) 年度		部	上下水道部		課	下水道施設維持課
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち					
	施策目標	1.災害に対する備えができています					
	実行計画名						

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称					サンセット	~	
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	下水道施設を利用している市民					
	サブターゲット	下水道施設を利用している事業者					
	ターゲットが抱える課題	下水道施設の円滑な利用受益の阻害。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	下水道施設の維持管理が円滑に行われている状態。						
事業概要	下水道管理施設の清掃及び維持補修等を緊急性や応急対応が必要な場合は直営で迅速に行い、施工内容や規模に合わせ委託対応するなど費用対効果を検討し適切に対応する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						下水道施設が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				清掃及び維持補修等の実施件数			
	指標種類	単位				単位				%			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					75	77.50	80	82.50	1,190	1,200	1,210	1,220
	実績					83				951			
	達成度					89%							
	分析					実施件数は減少したが、人件費の高騰等が起因して、1件当たりの支出額が増額したものと考えられる。				市民要望の件数が減少した事により、清掃及び施設維持補修の実施件数が減少しました。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	21.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.25
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	155,423	171,288	161,965		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,516	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	156,939	171,288	161,965		
	物件費計	282,045	312,800	289,717	350,928	83%	
	歳出計	438,984	484,088	451,682			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	33,640	21,800	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	33,640	21,800	0	0		
一般財源		405,344	462,288	289,717	350,928		

5. 総括的分析

総括的分析	下水道施設の老朽化に伴い、維持補修件数並びに支出額の増額が双方見込まれるが、令和2年度は件数のみが減少に転じました。これは、一過性のものであり、令和3年度以降は微増でも増大傾向に戻ると考えています。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市民の安全安心の確保に向けて、効率的且つ効果的な維持管理を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ポンプ場維持管理業務										
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部			課	下水道施設維持課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができています									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	下水道法				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	雨水ポンプ場排水区内・汚水ポンプ場の処理分区内の市民
	サブターゲット	雨水ポンプ場排水区内・汚水ポンプ場の処理分区内の事業者
	ターゲットが抱える課題	雨水ポンプ場施設の老朽化に伴う排水能力低下による浸水被害の発生。
	ターゲットが抱える課題	汚水ポンプ施設の老朽化等に伴う生活排水の能力低下による生活環境の悪化。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ポンプ場維持管理の充実による、浸水被害の軽減及び生活環境の維持あるいは向上している状態。
---------------------------	----------------------------------------------

事業概要	<p>各ポンプ場施設及び、各機器の点検や整備を継続的に行うことにより、雨水排水や生活排水を円滑に行い、まちの安心・安全を高める。年間を通じて、市内各施設(44箇所)の維持管理を行う。</p> <p>【各施設の箇所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水大ポンプ場 8箇所 ・雨水小ポンプ場 20箇所 ・汚水中継ポンプ場 2箇所 ・汚水マンホールポンプ11箇所 ・雨水貯留施設 1箇所 ・汚水貯留槽 2箇所 <p>【維持管理方法】・各種委託、小規模修繕、直営による保守点検整備</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	雨水排水や生活排水が円滑に行われる。				インプット (活動)	ポンプ場の維持管理が適正に行われる。						
	指標説明	雨水ポンプ場保守運転回数				ポンプ場点検回数							
指標設定	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					1,075	1,075	1,075	1,075	400	400	400	400
	実績					2,788				527			
	達成度												
分析					遠方監視装置のソフト改修に伴う試験信号もカウントされることから運転回数が増加となった。				雨水ポンプ場(週1回) 出口汚水中継ポンプ場(年102回) 長尾家具汚水中継ポンプ場(年25回)の保守点検が適切に実施されていた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	17.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	136,326	149,287	136,428	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	136,326	149,287	136,428	
	物件費計	358,632	728,675	205,429	305,009	67%
	歳出計	494,958	877,962	341,857		
歳入	国庫支出金	41,000	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	213,630	455,000	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	254,630	455,000	0	0	
一般財源		240,328	422,962	205,429	305,009	

5. 総括的分析

総括的分析	ポンプ場については、老朽化が進んでいることから維持管理費が今後増加をしていくものと考えられる。
-------	-------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	雨水ポンプ場等については直営及び委託等による点検整備を継続的に行い、運転を円滑に行えるよう維持管理に努める。 汚水中継ポンプ場については委託による点検整備を継続的に行い、流域下水道(終末処分場)への処理が適切に行えるよう維持管理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	景観水路維持管理事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	上下水道部				課	下水道施設維持課			
市長公約との関係	所信表明				市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務		区分	一般内部管理事務							
事業期間	不明		年度	~	年度まで								
根拠法令等	下水道法												
関係補助金名称												サンセット	~
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	景観水路を利用する市民											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	老朽化による施設の利用制限。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民の憩いの場として、親しまれるような水辺空間を提供できるように、景観水路の維持管理が適正にできている状態。												
事業概要	<p>景観水路の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場として、親しまれる水辺の空間を提供する。 直営及び委託により、景観水路(3箇所)の定期的な保守点検及び清掃を行い、維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設名 <ul style="list-style-type: none"> 香里こもれび水路 (水道水砂ろ過循環式) 出口水面廻廊 (水道水生物ろ過循環式) せせらぎ水路 (渚水みらいセンター高度処理水ポンプ放流式) 維持管理内容 (委託) 日常管理・水路清掃・樹木管理・水質管理 (直営) ゴミ回収 												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		親しまれる水辺の空間を提供する。				景観水路の適切な維持管理を行う。							
指標設定	指標説明					当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				委託などによる業務件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					67.50	70	72.50	75	6	6	6	6
	実績					56				4			
達成度													
分析					委託費及び修繕費の支出が抑えられたことから指標数値が低くなった。				香里こもれび水路が土木部に移管したことから発注件数が減となった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.49
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,771	12,761	11,419	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	11,771	12,761	11,419	
	物件費計	30,835	40,837	22,306	40,110	56%
	歳出計	42,606	53,598	33,725		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	42,606	53,598	22,306	40,110	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年3月31日付けで水面廻廊については、土木部に移管されたことから、翌年度以降は委託件数及び事業費について減少をしていく。
-------	-----------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	景観水路が市民の憩いの場として快適で親しまれる水辺空間となるよう、効率的かつ効果的な維持管理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	北部別館維持管理業務											
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部				課	下水道施設維持課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	課の職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	費用対効果を踏まえ効率的で効果的な当該施設の維持管理。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	当該施設の維持管理を充実させることにより、就労環境が整備できている状態。						
事業概要	年間を通じて、北部別館庁舎の維持管理を行う。 ・定期清掃・設備機器(電気・空調・火災報知器)の保守点検 ・警備業務						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						北部別館庁舎が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				北部別館庁舎を適切に維持管理するための保守点検等の件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					95	95	95	95	5	5	5	5
	実績					84.25				5			
	達成度												
分析					業務切り替え年度において落札差金が発生した事や庁舎修繕が無かった事による予算未執行で目標を下回ったものである。				庁舎の適切な維持管理に関する保守点検等で、必要最低限の委託業務(5件)が予定通り履行出来た。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.82
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	15,758	15,378	14,515		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	236	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	15,758	15,614	14,515		
	物件費計	7,381	8,183	13,501	16,025	84%	
	歳出計	23,139	23,797	28,016			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		23,139	23,797	13,501	16,025		

5. 総括的分析

総括的分析	恒常的且つ適正な庁舎の保守点検で、北部別館の修繕等が発生せず、また落札差金の発生等が寄与して支出を抑えた。 令和2年度は業務切り替え年度であり、落札差金等が発生した事から予算額に比べ決算額は低く抑えられましたが、令和3年度は2ヶ年に亘る債務負担委託の後年に位置付けられるため、契約確定額から同額の予算額要求をする事により、目標(見込み)額と実績額は近似となり、両年度による達成度に必然的な差が生じる事となる。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	北部別館庁舎の修繕等が極力発生しないよう、職員による適切な庁舎使用、並びに維持管理を心掛ける様に努め、恒常的な保守点検を実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	下水道施設維持課運営事務											
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部				課	下水道施設維持課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外									
	施策目標		99.施策体系外									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明			年度	~		年度まで					
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット	~				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	課の職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に図られている状態。											
事業概要	課の運営業務											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.07
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	20,904	17,120	16,508		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	355	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	20,904	17,475	16,508		
	物件費計	16,875	9,778	33,010	47,407	70%	
歳出計		37,779	27,253	49,518			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	3,483	0	0		
	歳入計	0	3,483	0	0		
一般財源		37,779	23,770	33,010	47,407		

5. 総括的分析

総括的分析	課の運営が円滑且つ適正に図られていると判断している。
-------	----------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、所管事務等について迅速な処理に努める。